

2022.08.28. なぜ私たちは悲しみを味わうのか

第一ペテロ 1章 6節～9節

JD ファラグ牧師

私が読むのについてきてください。無理な方は、着席したままで結構です。使徒ペテロが、聖霊によってこう書いています。6節、

I ペテロ 1

6 そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいますが、今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならぬのですが、

7 試練で試されたあなたがたの信仰は、火で精錬されてもなお朽ちていく金よりも高価であり、イエス・キリストが現れるとき、称賛と栄光と誉れをもたらします。

8 あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、今見てはいないけれども信じており、ことばに尽くせない、栄えに満ちた喜びに躍っています。

9 あなたがたが、信仰の結果であるたましいの救いを得ているからです。

一緒に祈りましょう。

天の御父よ。主よ、本当に本当に本当に感謝します。主よ、この時間、あなただけが御出来になる通り、いつもの忠実なご方法で、私たちの、特に心が重く、苦しく、疲れ、落胆している人々の心を静めてください。主よ、今日私たちの前にあるこの御言葉は、こんにちの私たちのためです。

主よ、私たちの信仰の創造者、完成者のあなたが、私たちの人生に語りかけ、導いてくださることを切にお願いします。あなたの御言葉共に過ごす時間を祝福してください。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。今日は、人生で様々な炎の試練を経験する時、なぜ私たちは悲しみを味わうのか』をお話ししたいと思います。あなたは試練を経験したことがありますか？ ただ、確認しておきたい。 (会衆の声)「OK。私もあります。」「試練の真っ只中か、試練から抜け出したか、これから試練に入るかです。」というある人の言葉を思い出しますね。こしゃくですね？ それはどうもありがとうございます！ でも、それが真実なんです。私たちの人生には試練がつきものですが、それには目的と理由があります。今日私たちの前にある御言葉箇所は、使徒ペテロが聖霊によって、当時、極度の迫害と苦しみの中にいた信者たちを励ましています。先週も少しお話ししましたね。彼らが経験したことは、例えようのない、想像を絶する、ただただ恐ろしいものでした。そこでペテロは、聖霊の促しを受けて、信者たちを励ますためこの手紙を書きました。この箇所では、なぜ私たちが悲しみを味わうのか、そしてもっと重要なのは、悲しみを味わうと何が達成されるのかについて、3つ以上の理由を示します。最初のもは6節にあり、それは私たちが、「大いに喜ぶため」なぜ笑っているのですか？ OK。説明しましょう。これって逆説的ですね？「炎のような試練で、激しい悲しみの中、大いに喜ぶのですか？」「そうです。」「説明してください。」私にその必要はありません。主が、聖霊によって、御言葉の中で示しておられます。そう、悲しみを味わうことは、大いに喜ぶことの対極ですが、ここに真理があります。私たちは、悲しみを味わう時、大いに喜ぶことができます。キリストにある者には、聖霊の力によってそれが可能であるばかりでなく、人生における炎のような試練に相對し、実際に生み出され達成されます。旧約聖書・新約聖書の両方にこのような例がたくさん繰り返されていて、また、このことに関する勧めがあります。その内の1つは、「ヤコブ書」です。1章を覚えていらっしゃいますか？ 半年くらい前でしたかね。

2節からです。ヤコブは、使徒ペテロが書いていることを反復し、また逆もしかりです。

ヤコブ 1

2 私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。

ここで止まってしまうと、とても混乱しますよね？「私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。」ですか？ここで終われば、残酷ですね。しかしありがたいことに、2節の後に3節が来るので、ここで終わりません。意味深ですね。3節には何と書いてあるのでしょうか？3節には、これらの炎の試練に直面するとき、なぜそれを純粋な喜びと考えられるのかが書かれています。その理由はこうです。「なぜなら、あなたは”知っている”から...」望む、願う、ではなく、

3 あなたがたが”知っている”とおりに、信仰が試されると（これが理由→）”忍耐が生まれます。”

4 その忍耐を完全に働かせなさい。...

「させる」=キーワードです。忍耐を働かせる。私は「させる」って言いました？なぜなら、私たちは「忍耐を働かせる」ことはせず、「戦って」しまうのです。でしょ？OK。私自身のことを話します。皆さんは、私より霊的ですから。私はそれと「戦って」しまう。それを「働かせ」ようとしない。蹴り、争い、噛み、引っ掻き、すべてしてしまいます。「主よ、何なさっているのですか？」

4 その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります。

ちょっと待ってください。この「ヤコブ書」の節を教え直したくありません。私たちは、既にかかなり深く学びましたから。でも、「忍耐を生み出すと知っているから、非常に苦しい試練や悲しみを味わう中でそれを純粋な喜びと考え、大いに喜べると、言うのですか？」「そうです。」「待ってください。試練を乗り越える忍耐力を得る方法は、他にないのですか？」「ありません。」「では、自分が受ける試練を乗り越えるための忍耐力を手に入れるには、その試練を乗り越えるしかないのですか？」「そうです。」もう一度言います。「つまり、試練を乗り越える忍耐力は、試練を乗り越えることで生み出されるのですか？」「そうです。」忍耐を働かせ、その働きを果たせば、私は成熟した完全なものとなり、何一つ欠けることはない。そして、私はすべてのことを純粋な喜びと考え、それを知っている。使徒パウロ。「ローマ人への手紙 5章」です。つまり.....パウロ、ペテロ、ヤコブ。これ以上はないでしょう？彼の言葉に耳を傾けてください。

ローマ 5

1 こうして、私たちは信仰によって義と認められたので、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。

2 このキリストによって私たちは、信仰によって、今立っているこの恵みに導き入れられました。そして、神の栄光にあずかる望みを喜んでいます。

さて、ここまではいいですね。3節、

3 それだけではなく、苦難さえも喜んでいます。...

そう慌てずに。「私たちが？」「そうです。」「ちょっと待って、今ペテロが言ったことで、ヤコブも言いました。で、あなたも言うの？」「そうです。」「私たちは苦しみも喜ぶのですか？」「そうです。」「どうやって、なぜ？」なぜなら「私たちは知っているから...」またその言葉が出てきましたね。私たちは”知っている”のです。

...それは、苦難が忍耐を生み出し、

基本的に同じことを、違う言い方で言ってます。彼はそれをさらに進めて、こう言います。

4 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです。

5 この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、（ここ覚えておいて下さい）神の愛が私たちの心に注がれているからです。

では（第一ペテロ）6節に戻りましょう。ですから、激しい炎の試練に直面したとき、神が何をしておられるのか、私の人生の試練をどこに向かわせようとしておられるのかを知り大いに喜ぶことができます。神が、私の人生に、何も成し遂げられないなどと、一瞬たりとも思わないでください。「欠けているものがある。私には何か欠けている。」神が、私に欠けているものを提供する唯一のご方法は、その苦しみや試練を経験させられることです。長年の私の人生の試練を振り返ってみると、もう二度と経験したくないと思う一方で、経験した試練の中で、それを通して乗り越え、神が成し遂げてくださった事は、私にとって何にも替え難いことが判ります。喜びがあります。試練の真っ只中ではなかったかもしれませんが。何しろ、あんなに苦しいのですから。時には絶望的に思えます。しかし、乗り越えた後には、ペテロが語る「今しばらくの間」だと分かります。「しばらくの間?」「苦しいですか?」「ええ、少しの間ね。」少しの間だけならいいんですけどね。長い間のような気がします。しかし、忍耐がその働きを終えることを許されると、あなたの中にこの希望と喜びを生み出します。私はパウロが、ローマ人への手紙の中で述べていることが大好きです。

「この方に信頼する者は、だれも失望させられることがない。」ローマ 10:11

神は決してあなたを失望させません。神は決してあなたを落胆させません。神はあなたをがっかりさせられません。神は必ずあなたを乗り越えさせられます。それを知ること。それを知っている事、「そうだといいな〜」ではなく、違います。私は知っている、知っているのです。それについても、後ほど詳しくお話しします。今からたくさんお話ししていきます。でも「私は知っている。知っている。」私は、神が何をされようとしてるのか知っています。まだ見えないけど、神がしてくださるのを知っている。なぜ、神は止められないのでしょうか？ 何度、主が私を救って下さったか。こう思った時、「もうだめだ。つまり、これで終わりだ。もう乗り越えられない。」しかしそれを経験し、乗り越え、神があなたの中で、あなたを通して御業をされ、それ故に、あなたは喜び神を賛美します。それが喜びで、大いに喜ぶことです。これをしっかり覚えておいてくださいね。目の前に迫る試練に必要となりますから。ちょっと、がっかりさせましたかね。ここまでは上手くやっていたのですがね。さて2つ目。7節です。これは興味深いことに、「私の信仰を証明するため」さて、ペテロがここで語っていることをよりよく理解するためには、まず、彼が語っていないことを知ることが大事だと思います。ペテロは、「私たちの信仰の真偽を証明することは、神に何かを証明せねばならないことに関係する」とは語っていません。神は既に知っておられます。ここで証明するのは、そういうことではありません。ここで証明することは、神は既にご存じなので、私自身へ、その燃えるような試練にいる私を見ている周りの人々への証明です。つまり、私は単なる都合の良い時だけのクリスチャンではありません。私はこの激しい苦しみを経験し、この炎の試練の中で悲しみを味わい、それでも私は主にしがみつき、主も私を掴み続けておられます。それが私の信仰の証明です。私に信仰がある証拠です。なぜなら、逆に私が試練を経験したら「こんなの忘れろ！」って感じです。そう、それが私が思ったことです。「やってみなくちゃ分からない」と言うかもしれません。あまり適切じゃないですね。試練の中で証明されるんです。あなたの口に信仰を、、あ、逆でしたね。あなたの信仰に口（言葉）を置く。それを見てみましょう。証明してください。証明してください。逆境に襲われ、そ

の時あなたが何をするか見てみましょう。ヨブが頭に浮かびますか？ ヨブの話すべてです。サタンが登場します。とても興味深いです。先日、こんなことを考えていました。サタンから、神に、ヨブについて尋ねなかったのは非常に興味深いと思います。神が、サタンにヨブのことを尋ねられます。今までそんな風に考えたことがなかったので、興味深い詳細だと思いました。普通、サタンが尋ねると思うでしょう？「あの～」もちろんサタンは、まだ天にアクセスすることができます。ですから、新天新地になるのです。サタンは地のあちこちを巡っていて、ある時、近くを通りかかり、神が「おい、サタン！どうしたんだ？ 何をしてるんだ？」神は、何をしているのかご存知でしたが。

「ぶらぶらと、地を歩き回っていました。」(ヨブ 1:7 参照)

「わたしのしもべ、ヨブを見たか？」「ええ実は、その件でここに来ました。あなたが先に尋ねて下さり、嬉しいです。」そして、サタンはこうします。

「もちろんです。ヨブはあなたに仕え、あなたを愛し、忠実です。あなたが彼を、これほど祝福しておられるから当然です。私にちょっとヨブを混乱させてください。ヨブは、あなたを面と向かって呪うでしょう。私はそれを証明できます。」(ヨブ 1:11 参照)

「よし、話は決まった。」今やヨブが、かわいそうに思います。ヨブは、霊の領域で何が起きているのか、まったく知らないのですから。神は、既に知っておられます。ヨブは神に何も証明する必要はありません。しかし、ヨブは自分の信仰を証明するため、忠実であり続けます。そしてヨブは、どんな苦難でも神を呪わない。神もそれを知っておられました。神が、ヨブが乗り越えられないとご存知なら、サタンがすることを、決して許されません。つまり、、教えるどころか、読むのも大変です。ヨブ記を一節ずつ学んだ時のことを覚えていますか？ こんなTシャツが欲しくなりました。「私はヨブ記を学び、生き延びて、生きてそれを伝える」非常に苦しかったです。しかし、それが何を証明したでしょう？ ヨブの信仰が、本物であることが証明されました。それこそが、ヨブの経験した、全ての苦難の意味だったのです。強烈な苦しみでした。そして痛み、想像できますか？ 最後に、ヨブは自分の信仰を証明し、神が、しもべであるヨブに対して正しかったことを証明しました。

「いや、彼はわたしを呪わない。おまえ（サタン）がヨブを非難しているのは、おまえが兄弟たちの告発者であり、偽りの父であり、混乱の生みの親だからで、まさに、おまえの手口だ。でも、ヨブがわたしを褒め称え、愛し、わたしに仕えるのは、わたしが彼を祝福しているからだと思うのか？ よし、試してみろ。」

主はヨブにそのすべてを経験させ、ヨブが神を愛していることを証明されました。ヨブ記には、私たちが覚えておいた方が良くと思う、とても力強く深い箇所がいくつかあります。その1つは、ヨブが妻を諭して言った言葉で、彼女の心を祝福します。ヨブの妻は公正に見ても…彼女が「神を呪って死になさい。」という場面で、(ヨブ 2:9) 私は何度も何度も躓いたのを覚えています。「ありがとう、ハニー。」でも、彼女の立場で考えてみてください。あれは彼女の子どもたちでもあります。そして今度は、こんな状態の夫を見ているのです。「神を呪って死になさい。」というより、「こんなあなたを見るのは耐えられない。」という感じでした。「夫は、敬虔で義の人生を歩み、私たちの家族をリーダーとして、敬虔な夫として、導いてくれた夫。しかし今、苦しむあなたを見てます。見ていられない……見ていられない。」

サタンが、ヨブの妻を利用しなかったのは面白いとは思いませんか？ あまり深読みしないで欲しいのですが、慎重に進めましょう。そんな目で見ないでください。-(笑)-

それが不思議なのです。思うに、サタンがこんな風に言う、「私は彼女を利用できるぞ。」想像してみてください

ださい。悪霊たちがサタンにこう聞く、「お〜い、あいつの妻はどうするんだ?」「いや、やめとけ。彼女は味方だ。」ー(笑)ー

このくらいにしておきます。やり過ぎましたね。ごめんなさい。でも、それは彼女のためでもあったのです。ヨブは、自分の信仰を奥さんに証明したからです。考えてみてください。神がそうされたのが大好きです。悪のために設計され、意図され、企てられたものが、阻止されるのが大好きです。あなたは悪のためにこれを謀りました。しかし神は、良い事の計らいにされ、こんにち多くの人の救いのためにされました。(創世記 50:20 参照)

神は、悪を用いて善に変えるのは、神にしか御出来になりません。そして神は、彼女にも証明されました。

「いや君、今にわかるよ。」「詩篇 27 篇 13-14 節」、ダビデの詩が思い浮かびます。神はこの詩篇を、特に最後の 2 節を、私の人生の中で長年に渡り用いられました。ダビデは、絶対絶命の危機が近づき、あきらめて、神を呪って死のうとしているところでした。今にも屈服し、あきらめようとしていました。彼はこう言っています。

「私は確信を失い、ほとんど死かけています。ただし、生ける者の地で主のいつくしみを見ると、”知って”いなかったなら。」そして、方向を変え、自分に言い始めます。独り言ではなく、自分への語りかけです。

「雄々しくあれ。心を強くせよ。待ち望め主を。」(詩篇 27:14)

主の善を見ることになる。待ちなさい、今に分かります。ヨブは、妻と、そんな会話をしたのか考えます。

「ハニー、待ちなさい、今に分かる。」彼女は、「本当に?」ちなみに、これは参考になる人もいるかもしれませんが、ペテロが「今しばらくの間」と語る事にも通じます。

さて、私たちがヨブ記を学んでいたとき、1年かかったと思います。本当に大変でしたね。あの書を読み切るのに、1年以上かかったかもしれません。ふ〜 ヨブの苦しみの期間は、数年間のような印象を受けますよね。そうではありません。約6ヶ月でした。しばらくの間でした。しかし、その書を読み進めると、どんどん苦難が続きます。一章から始まり、終わりまで6ヶ月間です。ヨブは妻に言いました。

「私たちは幸いを神から受けるのだから、わざわざ受けるべきではないか。」(ヨブ 2:10)

ヨブの妻の反応については一切書かれていません。私は、これが間違いなく彼女を黙らせたと思います。

主なる神に祝福を。主は与え、主は取られる。(ヨブ 1:21)

もう1つは、非常に力強いもので、今、本当に苦しんでいる人、傷ついている人にとって役に立ち、励みになる言葉です。ヨブは言います。

「神が私を殺しても、...」

彼は苦しみ、搔きむしっています。生々しくて申し訳ないのですが、生々しくする必要があります。彼に腫れ物があって、彼は、ゴミの山の上に座っています。匂いを想像してください。ヨブは土器のかけらを取り、頭先からつま先まで、腫れ物の痒みを搔いていたのです。(ヨブ 2:8)

それに加え、彼は子どもたちを失い、すべてを失い、全財産を失ったのです。彼はとても裕福だったのに。妻は、ただ自分を惨めな思いから解放してほしいと、願っています。

「神を呪い、これを終わらせなさい。そんなあなたを見るのは、耐えられない。」

そんな状態でもヨブは言います。

「私はなおも神を賛美する。私は、なおも神に信頼する。たとえ神がわたしを殺そうとも、私は神を信じる。私の日々は、神の御手の中にある。主よ、あなたの御心に適うように、なさってください。私はあな

たのものです。私は、私自身のものではありません。私は、代価を払って買い取られた者です。私の生まれた日も、死ぬ日も、その間のすべての日々も、私はあなたの御手の中にあります。神よ、あなたの御心に従って、そうなさってください。」

正直に言うと、私たちはそれは嫌なんですよね。このようなことは、「Word of Faith」の教師たち、つまり、繁栄の福音を語る人々は話したくないはずですよ。彼らは、あなたを叱責するでしょう。「下がれ、サタン！」お～「違う、我々はそれを話す必要がある。名を呼び、主張するんだ。ヨブには十分な信仰がなかった。さもなければ神は彼を癒しただろう。」そうなんですか？ ふむ。。

ところで、その為の言葉もあるんですよ。偶像崇拜と呼びます。主のために来るのではなく、主から得られる何かを求めて来る事です。主の為じゃなく。それは、偶像崇拜と呼びます。それは罪ですよ。ネタバレですが。こんにちの教会が、このような状態になっている理由の一端はこれが説明しているのでは？

「第一ペテロの手紙」の、このような箇所を捨ててしまい、「ヨブ記」には絶対近づかない。悲しみや痛み、嘆きに苦しむことを聞きたくない。私はイエスについて考えます。イエスは、悲しみと嘆きを知るお方でした。私たちは、自分の悲しみと嘆きの中で、イエスと一体化するのです。しかし、自分がそのような信仰を持っていることをどうやって証明すればいいのでしょうか？ 試練の中に入ることによってです。なぜなら、すべてが順風満帆なら...皆さん、雨も嵐もない人生を何と呼ぶか知ってますか？ 荒野です。そう、不毛の荒野です。そこでは何も育ちません。ええ、嵐は必要です。飛ぶため、飛躍するため、逆境が必要なのです。人生には逆境があり、その嵐を経験しなければなりません。木っていうのは、、ハワイに来て知ったのですが、私は結婚1年目まで、ヤシの木を見たことがなかったのです。私の出身地は松の木だけです。初めて見たヤシの木が、とても素晴らしかったのを覚えています。「すごい！これがヤシの木なのか！」正直言って、抱きしめてしまいました。私は、ツリーハッガー/環境保護家ではありませんが、ちょっと...これは...そんな感じで、私はヤシの木が大好きなんです。天国にはヤシの木があると思います。それで、ヤシの木について勉強してみました。ハリケーンの時、ヤシの木はこう曲がるでしょう？ 曲がって、膝をついている、感じですね。ちなみに、嵐の時は良い姿勢ですよ。言っておきますが。膝を屈め、曲がりますが、折れません。どうしてそれが可能なのか？ お～根っこのお陰です。それが理由です。根っこがそんなに強いってこと？ そうです。根がなければ、その木は倒れます。ではどうやって木は根を張るのか？ 嵐の中で、です。メッセージが送られます。

「おい、もっと深く張った方がいいのでは？」すると嵐が来る。そして、その根はより深く、より強く下へと張っていきます。私たちクリスチャンの生活に、大変良い手本だと思います。私たちは人生の嵐、試練の中で、神の御言葉に深く根を張る事です。さて、ここで先に進める前に、もう1つ「ヨブ記23章10節」です。彼の言葉を聞いてください。

ヨブ 23

10 しかし神は、私の行く道を知っておられる。私は試されると、...

ヨブはまだ試練を乗り越えていません。まだ自分を証明していません。

...金のようになって出て来る。

ペテロが火で精錬された金を持ち出すので私たちは金の話をしなければなりません。これは力強いです。ご辛抱ください、説明します。金細工師が金を精製する方法を知っていますか？ 金細工師は金を高熱で加熱します。そうすると、その金の中の不純物が表面に出て金細工師はその不純物の”かす”を、金から削り取ります。そして、その金に自分の姿が映ると、純金だと分かるのです。お～主よ、あなたのなさる

ことがよくわかります。あなたは私を証明し、精錬されています。イザヤのことを考えます。一読すると、こう思う節の1つです。「嫌だ！」神は、預言者イザヤを通して仰います。

「わたしはあなたを苦難の炉を選びあなたを精錬します。」(イザヤ 48:10 参照)

「なぜ、苦難の炉なのですか？ なぜ、私を精錬するのはオアフ島のビーチではダメなのですか？」— (笑)— 「ダメ、苦難の炉です。」

シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを考えます。彼らに与えられた名前ですが、彼らはこのかつてないほどの7倍熱い火の炉に投げ込まれます。ここに類型論があって、その話はしたことがあるので、時間の都合上割愛します。しかし、興味深くないですか？ 燃える炉に投げ込まれる直前、彼らが言った事を知ってますか？

「私たちの神は、私たちを救い出すことができます。しかし、(う～)たとえそうでなくても、それでよいのです。」(ダニエル 3:17~18 参照)

私は...今、本当に罪を示されました。自分だったら、そう言えるかどうか分かりません！ 私なら言うでしょう。「やめて！そこに投げ込まないで～～！！」彼らが炉に投げ込まれた時、唯一燃えた物が何かご存知ですか？ 主は炉の中におられたのですよ。燃えたのは、彼らを縛った縄だけでした。髪の毛も焦げず、煙の匂いさえなかったと、記述に詳しく語られています。(ダニエル 3:27 参照)

つまり、彼らには髪の毛があったのですね。失礼。ですから彼らに髪の毛はあっても、焦げる匂いとか、そういうのはなかった。その火はとても熱く、投げ込んだ人たちが生きてまま焼かれてしまったほどです。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴに燃えたのは、彼らを縛った縄だけでした。私は何を言いたいかわかりますか？ 神は、私たちを縛るものを焼き払うため、苦難の炉、燃えるような試練に入れることを許されます。私たちの中にある不純物を削ぎ落とすために。私たちを清く、よりイエスに似せるために。さて、ちょっと先走ってしまいましたが、3つ目、8節から9節です。私たちは悲しみを味わい、炎の試練を受けるのは、「もっと主を愛するため」さて、私がこう言うと、何のことを話しているかよく分かる方もおられると思います。しかし、私たちが試練を経験し、神の愛の杯から味わうとき、あなたは溶け崩れます。あなたがその試練を経験しなかったら、主があなたに対して持つておられるその愛を知る方法は他にありません。そして、主はその試練にいるあなたを見守られます。主は、他の方法ではご自分を明らかにされなかつたやり方で、あなたにご自分を明らかにされます。その結果、あなたはこのとてもシンプルで力強いこの真理が心に刻まれます。「イエスは私を愛しておられます。主は本当に私を愛しておられます。」そこから生まれる反応は何でしょうか。私たちはもっと主を愛するようになります。主は先に私たちを愛して下さいました。私たちがまだ罪びとだった時に、キリストは、私たちのために死んでくださいました。こんなことを言うのをお許しください。その杯を味わったことのない人が気の毒です。本当にそう思います。愛情を込めて言っています。そう受け取ってほしいと思います。でも、その試練を経験したことがない人たち、神が私たちにお持ちの喜びと愛の杯を味わったことのない人たちは、本当に気の毒だと思います。つまり、自分自身こう考えるとき、

「神よ、私はどうしたらいいのでしょうか？」「わたしを信じなさい。」「ええでも、神よ、これは、これは本当にひどいのです。」「知っています。」「神よ、私は乗り越えられるかどうか分かりません。」「乗り越えます。」

そして、主のあなたへのアガペーの愛が故、主にしかお出来にならないことをしてくださるのです。そして、あなたはその愛を体験します。つまり、あなたは一生、主のために捧げるようになります。ペテロが

言っているのはそういうことで、私はペテロの言い方が大好きです。

「あなたがたは主を見たことはないけれど、」と言っています。「私(ペテロ)は見たのですよ。に～にに、にんにん♪ 私は主を知っています。私は主とともに歩んでいました。あなたがたはないけれど、に～にに、にんにん♪ (どんなもんだい)」そうは言ってませんが。しかしペテロは彼らにこう言うのです。

「たとえばあなたがたが、主を見て(キーワード)いなくても、あなたがたは主を愛し、主を信じています。」

今、私たちはこれについても話す必要があります、私たちは、残念ながら、悲しいことに、こう教えられてきました。「見ることは信じることだ。」皆さん、トマスに厳しく当たらないように...多くの人が "疑い深いトマス" のトマスに謝罪しなければならないと思います。ペテロも一緒なので、多くの人がペテロにも謝らなければならないと思いますが、"疑い深いトマス" とは、ちょっと公平ではありません。彼は、他の弟子たちが見た事を見たかったのです。それって何も間違っていない。実際、イエスもそれを認めておられます。それでトマスは、イエスを見て、、トマスがいない時、現れたイエスを他の弟子たちが見たから、トマスは言います。

「私は釘/杭を見たい。あなたがたが見た通り傷跡を見たい。」(ヨハネ 20:25 参照)

そして、イエスがトマスの前に現れます。恵みです。トマスに傷をお見せになり、トマスは崩れ落ちます。イエスは彼に何と仰られるでしょう？

「もっとちゃんと教えたはずなのに！おい、なんだ！トマスどういうことだ！」

違います。(笑)主はこう仰います。聞いてください。そう今のはちょっと.....。長い一週間でしたから。それで、主は彼に仰られます。「あなたはわたしを見たから信じて、祝福されますね。トマス、これを確認しなさい。見ないで信じる人たちが、どれだけ祝福されるでしょう。」(ヨハネ 20:29 参照)

ペテロが語っているのは、そういうことです。どうかお付き合いください。私たちは「見ることは信じること」と教えられてきました。しかし、それは逆が真理で、「信じることは見ること」です。そこが私たちが混乱するところです。「ヨハネの福音書 11章 40節」「イエスは彼女に言われた...」この時、主が来られ、マリアとマルタ、特にマルタですよ。そう、この二人の姉妹の関係は興味深いものでしたね。二人の性格が垣間見えますが、彼女はイエスに怒っているんですよ。

「あなたがここにいてくださっていたら、私の兄弟ラザロは死ななかつたのに！なぜこんなに遅くなったのですか？」(ヨハネ 11:32 参照)

イエスに「あなたの友達のラザロが病気です」と伝えるために、人を遣わしましたのに。イエスは「OK。」で、行かれませんでした。3日か4日後に、主は来られました。彼女らはこうです。

「これはどういうこと？ 愛はあるの？気にかけていないなんて。来てくださらなかつただなんて。」

「お～もしあなたが知ってさえいれば、、わたしは、もっと大きな奇跡をするため遅らせました。もし、わたしが来て彼を癒していたなら、ええ、それは奇跡です。わたしがラザロを生き返らせれば？ それが奇跡です！」

「わたしはよみがえりです。いのちです。」(ヨハネ 11:25)

イエスが私みたいだとは決して想像しないでください。イエスのようでありたいです。これで締めくくります。ご辛抱ください。しかし、決してイエスが厳しい口調で彼女らにこう仰ったとは思わないでください。しかし、主は仰ります。

「信じるなら神の栄光を見る、とあなたに言ったではありませんか。」(ヨハネ 11:40)

信じることは見る事。しかし、そう、見ていないことが私たちの問題です。私たちの中のすべてが、それを見て信じたいと考えます。そう、人間の性質から、目で見て歩きたいじゃないですか。さあ頼みますよ。

ローマ 1

17「義人は信仰によって生きる」

信仰は見る事の対極にあります。ところで、大いなる終わりの日、あのラッパが鳴り、キリストにある死者が先によみがえり、生きて残っている私たちが捕えられ、携挙される時、信仰は必要ありません。私たちは見るからです。

ヘブル 11

1「信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを（強い言葉です）確信させるものです。」

信仰は見る事の対極にあるもので、それが私たちの問題なのです。それが奮闘なのですよね。OK。私は信仰がありますが、、、イエスにこう言った人みたいです。

「信じます。不信仰な私をお助けください。」（マルコ 9:24 参照）

お～この節には、私の名前が書かれていますよ。皆さんもですよ。だから、霊的な目で私を見ないでください。—(笑)—「私は信じますが、ちょっと...見せてもらえませんか?」「それでは信仰とは言えません。それは信仰ではありません。」

「信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。」（ヘブル 11:6）

ここにいて私たちの中で、神を喜ばせたくないと思う人はいないでしょう？ 私たちが見ることを切望して、信仰によって生きないなら、神をどれほど悲しませるのでしょうか。もし私たちが見たら、「私たちは大丈夫。」となります。そうではなく、あなたは知る必要があります。信仰によって。ローマ人への手紙 8章 28節。この話になるのは分かっていましたね？ OK。「私たちは知っています。」

興味深いと思いませんか？パウロは「私たちは見ています。」と言いません。違います。「私たちは知っています。」どうやって知るのでですか？ 信仰によって。見る事じゃありません。

ローマ 8

28 神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは “知っています。”

OK。これがご計画（目的）です。ご計画は、私たちの苦しみや悲しみ痛みは、私たちがよりイエスに似せるためです。29節にありますね。29節を28節と一緒に引用することはありません。28節で止めてしまします。ご計画が29節にあります。私たちがイエス・キリストの姿に形造る事。火の中の金のように磨き上げ、嵐の中で根を深く張り、もっとイエスに似た者に変えるためです。それが達成されているのです。主は、私たちがイエス・キリストの御姿に造り変えられ、私たちの人生に主の御姿が映し出されるようにされます。ところで皆さん、こう祈りましたか？「私をもっとイエスのようにしてください。」

それが理由です。何を祈るかには、気をつけてくださいよ。「お～主よ、私を祈りの人にしてください。」実は何年も前に、これを祈ったことがあるのですが、二度と祈りません。「私を祈りの人にしてください。」とは。「本当にいいのですか?」「はい、神よ、祈りの人になりたいです。」「よろしい。」試練がやって来て、私は膝を屈め祈ります。「お～神よ!」「OK。あなたを祈りの人にしました。」「私をもっとイエスのようにしてください。」「本当にいいのですか? なぜなら、今私たちが話しているのは、わたしの心と計画に沿ったものだからです。そして、あなたが御心にしたがって何かを求めるときはいつでも、わたしは

それを行います。だから本当にいいのですか?」「はい、間違いありません。」そして、試練、痛み、苦しみ、悲しみがやってきます。主は、不純物を全て焼き尽くし、削ぎ落とされます。主は私たちを精錬し、清め、よりイエスに似せようとされます。イエスはどのようなお方だったのでしょうか? 柔和で、忍耐強く、親切で、穏やかで、長く苦しめました。つまり、リストはかなり長く、まだまだ続きますよ。言う必要があるかどうか分かりませんが、言いたいことは分かりますよね? そのような炎の試練を乗り越えた時、その向こう側にあるのは、他の人をもっと思いやることができるようになることではないですか? 間違いなく私たちはもっと謙虚になりますよね? 私たちはもっと優しく、もっと親切に、もっと辛抱強くなります。思いやりの部分について、さっと手短にお話ししましょう。使徒パウロが、コリントの教会に書いたことを考えます。彼は、あなた自身が同じ苦しみを経験した時、主から受けた慰めによって、他の人を慰めることができると言っています。(Iコリント 1:4 参照)

クリスチャンの人生において、他人を思いやるために、火のような試練ほど良いものはないでしょう。神があなたに経験させられたことを人が経験するのを見ると、彼らに対する愛と思いやりが湧いてきます。そして、この愛「神を愛する人たち」私たちはそれを通過してしまいますよね。「神のご計画に沿って召された人たち」神を愛する人たちはどうするのか? 律法とは、心と魂と精神と力を尽くして神を愛することに集約されませんか? なぜなら、そのように神を愛すると、神の御前で、他の神々を持つことができなくなります。そのように神を愛し、既に自分を愛しているように、他人を愛し、皆さん、自分を愛していますよ。他人を愛し、神を愛するとき、十戒の最初の5つと最後の5つの律法を本当に要約します。それが神のなさることです。神はあなたがもっと愛せるようにして下さっています。

他人を愛するだけでなく、主を愛することを。あなたはそれを乗り越えた後でなければ、決して愛さなかったであろう方法で主をより深く愛します。最後に、励ましの言葉で締めくくります。多くの人がおられると思います。世界中から多くの人々からメールを貰いますが彼らは本当に、本当に辛いことをたくさん経験しています。胸が張り裂けますよ。「しかし、神は。」つまり、彼らを思いやり、共に傷つき、共に泣くのです。

「喜んでいる者たちとともに喜び、泣いている者たちとともに泣きなさい。」(ローマ 12:15)

電話やパソコンの画面から手を伸ばして、抱きしめ、言ってあげたい時があります。「どんなに辛い分かるよ。私も同じ経験をしたから。」私はあなたを励ましたいのです。神はきっと見守ってくださいます。待つのです。今に分かります。主はあなたをとっても愛しておられます。あなたが知ってさえいれば。そして、今しばらくの間苦しんでも、あなたはそこから抜け出し、神がそれを乗り越えさせてくださり、あなたの神との関係はこうなります。

「凄い!お~主よ、私はあなたをとっても愛しています。」「わたしはもっと愛しています。」「いいえ、主よ、私はあなたをとっても愛しています。」それが、主のなさっておられることです。元気を出してください。元気を出して。神はあなたを愛しておられます。神が見守ってくださいます。ええ、辛い。ええ、苦しい。ええ、とても痛いです。ええ、乗り越えられそうに見えません。しかし、神は。あなたを愛しておられます。主が見守ってくださいます。主を信じてください。主を信じるのです。主があなたを殺されても、あなたは主を信じるのです。

「私は、死ななければならぬのでしたら死にます。」(エステル 4:15)

私は主を信じ、愛しています。そうなさるのなら、それでいいのです。

ご起立ください。カポノ、私のマスカラが取れる前に上がってきてください。-(笑)-

神よ、あなたはとても良いお方です。主よ、私たちは疲れて傷ついた人たちのために、このことを歌い終わったところです。主よ、私は祈ります。今日、あなただけがお出来になるように、聖霊によって彼らを慰め、励まし、力を与えてくださいますように。

主よ、感謝します。どんな苦しみも無駄にはなりません。あなたは私たちの人生にこの働きを成し遂げられ、私たちに欠けているものを与え、私たちに必要な忍耐力を生み出され、私たちをよりあなたに似た者なさいませ。傷つき、苦しんでいる人たちを励ましてください。ただ、彼らを愛し、導いてください。主よ、本当に感謝します。私たちはあなたをととても愛しています。私たちはあなたをととても愛しています。イエスの御名において。アーメン

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7